

# 6月は環境月間

6月5日は「環境の日」です。

これは、環境保全についての理解を深め、積極的に活動を行うために環境基本法で定められたもので、6月は、全国でさまざまな行事が行われます。

「環境保全」の対象は、日常生活を取り巻く大気や水・土壌・森林などの身近な生活環境から、地球温暖化・オゾン層破壊対策など多種多様です。その中で私たちにできることを考えていきましょう。

## 私たちにできること

市では、地球温暖化対策として、まどかエコ・オフィスプランを策定し、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。

私たちが使用している電気を発電する際には、少なからず二酸化炭素を排出しています。そのため、省エネルギーを心掛けることにより、地球温暖化の防止に貢献することができます。

◆使わない電化製品は、主電源を切り、コンセントからプラグを抜きましょう。

◆電化製品を買い替えるときは、省エネ基準達成率100%以上の表示があるものを購入しましょう。

◆車の使用は控え、なるべくバスや電車などの公共交通機関、自転車や徒歩で移動しましょう。

この環境月間を機に、まずは、自分たちができることから、持続的に環境保全活動を実践していくことが必要です。



▲グリーンカーテン（市庁舎西側）

## 問い合わせ先

環境・最終処分場対策課環境政策担当

☎(580)1886

こんにちは  
保健師です。

## 不育症

### 不育症とは

妊娠しても、流産を繰り返したり、死産になってしまったりすることを不育症と呼んでいます。一般的には2回以上連続した流産または死産があれば、不育症と診断されています。

### 原因

流産は全妊娠の10〜20%に起こるとされています。妊娠歴のある女性のうち、約40%に流産経験があることが明らかになっています。

妊娠初期の流産の原因の約80%は赤ちゃんの偶発的な染色体異常とされていますが、流産を繰り返す場合

には、そのほかに多くの流産のリスク因子を持つことがあります。  
**検査や治療について**

不育症の人も、特別な場合を除いて、適切な治療を行うことで出産することが出来ます。まずは、かかりつけの産婦人科医とよく相談し、納得のいく検査や治療を受けることをおすすめします。

### 関連情報サイト

Fuiku-Labo(厚生労働省研究班ホームページ)  
http://fuiku.jp/  
福岡県不妊に悩む人への特定治療支援事業

県では、不妊に悩む夫婦に不妊治療の助成を行っています。  
http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/fuin.html

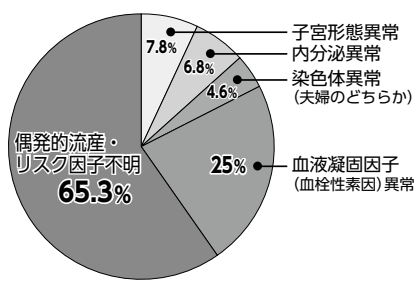
### 申請窓口

筑紫保健福祉環境事務所健康増進課  
☎(513)5583

### 問い合わせ先

こども健康課母子保健担当  
☎(580)1978

## 不育症のリスク因子別頻度



n=527人  
(年齢34.3±4.8歳、既往流産回数2.8±1.4回、重複有43件)  
Fuiku-Labo(厚生労働省不育研究班)